

交通政策審議会の答申について

本日、交通政策審議会から「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」の答申が公表されましたので、お知らせします。

なお、本答申中、多摩都市モノレールの延伸について記述された部分につきましては、別紙のとおりです。

2. 具体的なプロジェクトについての検討結果

東京圏における今後の都市鉄道のあり方について、目指すべき姿は先述したとおりであるが、これを具現化するのには地方公共団体や鉄道事業者、都市開発事業者等による具体的な取組にほかならない。また、過去8度の答申では具体的な事業を挙げてその実現を促してきた経緯も踏まえ、本答申でも関係都県・政令指定都市及び鉄道事業者並びに委員から提案のあったプロジェクトについて、目指すべき姿を実現する上で意義のあるプロジェクトであるか否か等について検討を行った。なお、ここでいうプロジェクトとは鉄道ネットワークのプロジェクト（路線の新設及び既設路線の改良をいう。以下同じ。）並びに駅のプロジェクトを指す。

鉄道ネットワークのプロジェクトの検討に際しては、東京圏の都市鉄道が目指すべき姿として示した「(1) 国際競争力の強化に資する都市鉄道」、「(2) 豊かな国民生活に資する都市鉄道」、「(3) まちづくりと連携した持続可能な都市鉄道」、「(5) 信頼と安心の都市鉄道」及び「(6) 災害対策の強力な推進と取組の「見える化」」に各プロジェクトがどの程度資するものであるかについて、需要推計等により可能な限り定量的に分析を行った。なお、「(4) 駅空間の質的進化 ～次世代ステーションの創造～」については、東京圏の都市鉄道において新たに焦点が当てられた事柄であり、特に対応の必要性が増大していることから、駅のプロジェクトについては、鉄道ネットワークのプロジェクトと分けて検討結果を示す。また、輸送需要見直し、費用便益比等による社会的経済効果分析、財務分析等を可能な限り行い、事業化に向けた関係者の検討の熟度等を踏まえ、鉄道ネットワークのプロジェクトについてはその意義と事業化に向けた主な課題を整理し、駅のプロジェクトについてはその意義と想定される効果を整理した。また、駅マネの取組が特に期待される駅の類型についても併せて整理を行った。

今後、以下に挙げたプロジェクトを含め、各プロジェクトを進めるに当たっては、地方公共団体、鉄道事業者等において、課題の解決に向けた取組を進めることを期待する。特に、駅のプロジェクトの推進に当たっては、駅マネの実施が求められるが、その際には空間デザイン、浸水対策、避難誘導等における連携も併せて図ることを期待する。

なお、鉄道事業者が良質なサービスを安定的に提供していくためには、健全な経営の確保が必要であり、そのためには鉄道輸送に適した鉄道需要が安定的に存在することが必要である。そのため、プロジェクトの整備着手に当たっては、関係地方公共団体・鉄道事業者等において、改めてその時点で将来的な需要の見直し、採算性等について十分な見極めを行う必要がある点に留意すべきである。例えば、沿線開発に伴う定住人口の増加を見込んで鉄道整備を行ったが、実際には沿線の定住人口の増加が想定を下回った結果、輸送実績も需要予測を大きく下回り、最終的に事業再生手続を行うに至った鉄道事業者も存在しているところであり、今後このような事態が生じないよう、鉄道整備に当たっては沿線開発の動向を慎重に見極めることが必要である。

また、プロジェクトの事業化に当たっては、整備・営業主体の確立が大前提であ

ることは言うまでもない。整備・営業主体が確立していないプロジェクトについては、十分な検討を行うことが必要である。

さらに、都市鉄道の整備は、投資規模が大きく、かつ資本の懐妊期間が長期にわたること及び鉄道整備の公益性等に鑑み、従来より、国及び地方公共団体において、適切な役割分担のもと、補助金交付、税制優遇措置等の公的支援措置を講じてきたところであるが、国及び地方公共団体の厳しい財政状況を踏まえると、より少ない費用で最大限の効果が発揮されるよう、既存ストックの有効活用や投資の選択と集中を徹底するとともに、鉄道整備財源確保の方策についても検討を進めることが必要である。

- 〈12〉 多摩都市モノレールの延伸（上北台～箱根ヶ崎、多摩センター～八王子、多摩センター～町田）



【意義】

（上北台～箱根ヶ崎）

- ・多摩地域の主要地区間のアクセス利便性の向上。

（多摩センター～八王子）

- ・多摩地域の主要地区間のアクセス利便性の向上を期待。

（多摩センター～町田）

- ・多摩地域の主要地区間のアクセス利便性の向上。

【課題】

（上北台～箱根ヶ崎）

- ・導入空間となりうる道路整備が進んでおり、事業化に向けて関係地方公共団体・鉄道事業者等において具体的な調整を進めるべき。

（多摩センター～八王子）

- ・事業性に課題があるため、関係地方公共団体・鉄道事業者等において、事業計画について十分な検討が行われることを期待。

（多摩センター～町田）

- ・導入空間となりうる道路整備が前提となるため、その進捗を見極めつつ、事業化に向けて関係地方公共団体・鉄道事業者等において具体的な調整を進めるべき。